

都道府県遭難防止対策主管部局長
公益社団法人日本山岳協会会長 様
都道府県山岳協会(連盟)会長

長野県山岳遭難防止対策協会会長
長野県知事 阿部 守 一

冬山の遭難防止について(依頼)

本県における山岳遭難防止対策活動につきましては、毎年格別のご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本年12月6日までに長野県内で発生した遭難件数は258件、遭難者は277人となっております。過去最多を記録した平成25年や過去2番目の多さであった昨年を下回っておりますが、依然として多くの遭難事故が発生しております。

本格的な冬山シーズンを迎え、多数の登山者が当県の山岳に入山することが予想されますが、冬山登山は、低温、積雪等の厳しい自然条件のもとで、遭難発生時の致死率が高く、高度な登山技術と装備、鍛練された体力、さらに綿密な計画と組織的な行動が要求される場所です。

こうした状況を踏まえ、当協会では、登山者に対する指導活動等冬山登山の遭難防止対策に万全を期しているところではありますが、貴職におかれましても以下を参考としていただき、冬山の安全登山について広くご指導くださいますようお願い申し上げます。

長野県内の冬山の情報について

当協会発行の「冬山情報」を、登山計画立案や登山指導等に活用願います。また、入山時には直前の山岳状況を確認するよう指導するほか、次の事項について指導してください。

- (1) 登山口や近くのJR駅等に登山相談所が開設されている場合は、入山時に必ず立寄り、登山道や積雪などの山岳状況を確認してから入山する。(相談所情報は下記長野県HPに掲載予定。)
- (2) 下山した場合は、登山相談所等に登山コースの積雪状況等を連絡し、より正確な相談活動が出来るよう協力する。

【県下全域の山岳情報については…】

- 長野県警察本部地域部山岳安全対策課 (TEL026-235-3611)
- 長野県警ホームページ <http://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html>

【登山相談所の情報は…】

- 長野県ホームページ
http://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangakusounan/sangaku_tozansoudansyo.html

〒380-8570

長野市大字南長野字幅下 692-2

長野県山岳遭難防止対策協会防止対策部

(長野県観光部山岳高原観光課山岳高原観光係)

(課長) 玉井裕司 (担当) 北澤淳

電話 026-235-7251

FAX 026-235-7257

メール ml-tourism@pref.nagano.lg.jp



特別号(平成 27 年 12 月 16 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三歩 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難の事例をお伝えし、「安全登山のアドバイス」のきっかけとしていただくため、発行しています。

- ◇お客様と接する登山用品店店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会など

▽こちらのURLに毎号掲載しています

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/sotaikyo/sangakutusin.html>

【年末年始の山岳遭難発生状況】

(平成 26 年 12 月 29 日～平成 27 年 1 月 3 日)

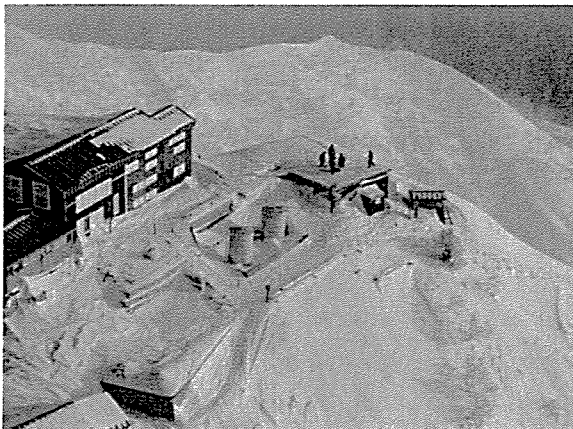
遭難 6 件 (うち死亡 1 人)

～山岳遭難は他人事ではありません、十分な準備と適切な判断が必要となります～

【遭難事例】

- 12 月 31 日 北アルプス燕岳 [山梨県 女性 64 歳 死亡]

遭難者は単独で合戦尾根を登山中、天候不良(吹雪)のため行動不能となり、救助要請。付近の山小屋から遭対協隊員が出動し発見したが、低体温症により心肺停止状態となっていた。遭対協隊員が付近の山小屋に収容後、県警ヘリで搬送。



【アドバイス】

低体温症は意識障害を伴うので、自分では対応が難しい場合があります。単独登山は避け、できるだけ経験者と行動しましょう。

天候や気温、積雪の状態によっては、行程に予想以上の時間がかかります。時間にゆとりを持ち、天候の悪化が予想される場合には、行動は控えましょう。

- 12月31日 志賀高原横手山〔オーストラリア国籍 男性36歳 無事救助〕

横手山スキー場外を滑走中、道に迷い、行動不能。遭対協隊員が夜間に捜索を行い、発見。無事に救助した。

- 1月1日 八ヶ岳連峰赤岳〔神奈川県 男性59歳 無事救助〕

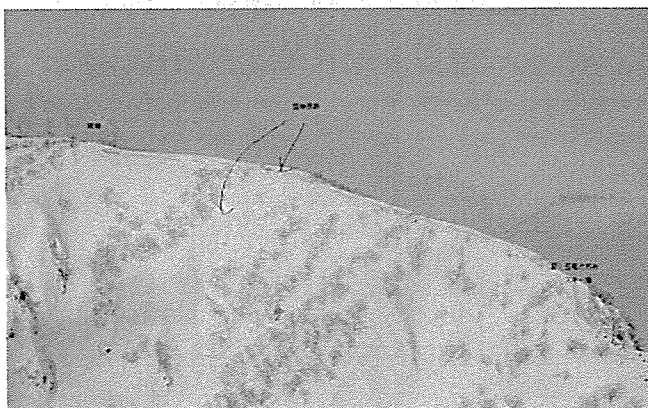
単独で地蔵尾根を下山中、道に迷い、行動不能。パトロール中の県警救助隊員と遭対協隊員が発見、無事に救助した。

【アドバイス】

冬山登山は強靱な体力と経験、技術が必要となります。

- 1月1日 北アルプス五竜岳〔東京都 男性40歳 負傷（凍傷）〕

単独で遠見尾根に登山したが、悪天候のため行動不能となり、稜線上でテントを設営し2日間ビバーク後、強風によりテントが潰され、救助要請。翌日地上から県警救助隊員と遭対協隊員が入山し、遭難者を発見後、県警ヘリにより救助した。



【アドバイス】

冬の稜線は凍結している場合が多く、また冬型の天候が強まれば強風になり行動不能となります。入山前から現地の気象情報を収集、把握し、天候の悪化が予想される場合は、登山を控えましょう。

○ 1月2日 八ヶ岳連峰横岳〔東京都 男性 55歳 負傷（凍傷）〕

単独で横岳付近を縦走していたが、日没のため道に迷い、稜線上でピバーク。その後、低体温症により行動不能となり、通りがかりの登山者が発見し、救助要請。

強風のため、地上から県警救助隊員と遭対協隊員が入山して、風の弱い地点まで搬送後、県警ヘリにより救助した。



【アドバイス】

冬山登山は強靱な体力と経験、技術が必要となります。

冬期の場合、疲労や強風の影響で低体温症となり死亡する危険性が高まります。低体温症は意識障害を伴うので、自分では対応が難しい場合があります。単独登山は避け、できるだけ経験者と行動しましょう。

○ 1月3日 大町市小熊山（標高 1,302m）〔愛知県 男性 36歳 無事救助〕

遭難者は単独で写真撮影のため入山したが、日没になり道に迷い、行動不能。県警救助隊員が捜索し遭難者を発見。同行下山した。



低体温症が大幅に増加

昨年の年末年始に発生した6件の遭難の内3件が強風や吹雪の中を行動し、低体温症に陥った事案でした。

冬山用の着衣、装備でも厳しい気象条件下では寒さに耐えられない場合があります。



* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」jmt-toursim@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

